



平成13年7月19日  
日本原子力発電株式会社

### 東海第二発電所の調整運転開始について

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、電気出力110万キロワット）は、本年3月26日から第18回定期検査を実施していましたが、所定の点検が終了したため、7月22日22時頃から定期検査の最終段階である調整運転を開始する予定です。なお、定期検査を実施した主な設備は次のとおりです。

- (1) 原子炉本体
- (2) 原子炉冷却系統設備
- (3) 計測制御系統設備
- (4) 燃料設備
- (5) 放射線管理設備
- (6) 廃棄設備
- (7) 原子炉格納施設
- (8) 蒸気タービン設備
- (9) 非常用予備発電装置

以上

---

1. 主要工事等

(1) 中性子計測ハウジング取替工事

【概要】

・ 第17回定期検査期間中に発見された中性子計測ハウジング1本のひびについては、同定期検査期間中に溶接及び拡管による対策工事を実施したが、より一層の信頼性を確保する観点から当該中性子計測ハウジングについて、耐食性材料を使用したハウジングに取替えた。

2. 燃料取替実績

燃料集合体全数764体のうち、164体を取替えた。

3. 運転再開予定

原子炉起動 平成13年7月20日 6時頃

調整運転開始 平成13年7月22日22時頃

定常運転再開 平成13年8月中旬

4. 次回定期検査の予定

平成14年秋頃の予定